

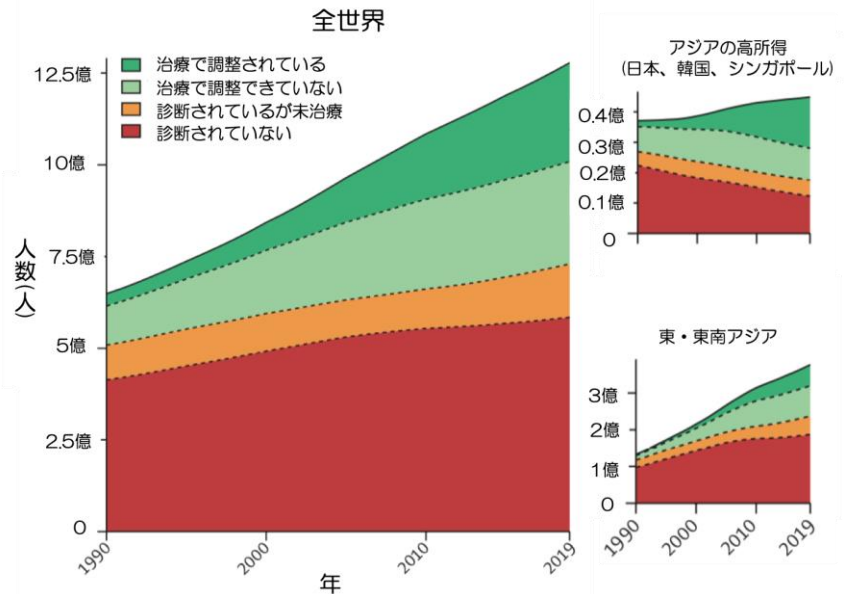
世界中で高血圧患者が急増!

高血圧は脳卒中や虚血性心疾患(心筋梗塞)などの血管系の病気や腎臓病など様々な病気の原因となることは知られています。そんな高血圧は、世界で30年間に約2倍に増加しています。

●世界との比較でみる日本の高血圧患者

日本などの先進国では高血圧患者はやや増加しているものの、診断されている人が増え、治療により調整できている人が増えていることがわかります。一方、他のアジア諸国やアフリカなどでは患者数が急増している状況とのことです。

●日本でも2019年に高血圧治療ガイドラインが改定され、治療目標が厳格されています。(ジャーナル vol.7で紹介)
高血圧は食事や運動療法、薬物療法により改善可能なものの、未診断・未治療の状態の人が多くいるのも事実です。



血圧は血圧計という簡単な道具で、自分で把握することが可能です。また、生活習慣を見直すことにより、自分で治療をすることも可能な疾患です。通院時や検診だけでなく、定期的に自分の状態を把握できると良いですね。

●SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて

高血圧の予防や治療はSDGsの3.4「2030年までに、非感染症疾患(NCD)による早期死亡を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。」の達成に寄与するものです。未来に向けたより良い社会のために皆さんも取り組んでみましょう。



参考：NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC). Worldwide trends in hypertension prevalence and progress in treatment and control from 1990 to 2019: a pooled analysis of 1201 population-representative studies with 104 million participants. Lancet. 2021 Aug 24.

